

所管事務調査報告

民生福祉常任委員会

平成28年9月2日

調査事項	介護の総合事業について
調査日時	平成28年8月9日
調査項目	<p>①平成29年4月から実施予定の介護総合事業の概要について</p> <p>②山陽小野田市の訪問型サービス、通所型サービスについて</p> <p>③総合事業の導入に伴い廃止、継続を検討中の事業について</p> <p>④介護予防・日常生活支援総合事業導入スケジュールについて</p>
調査によって明らかになった事項	<p>①総合事業の概要について</p> <p>予防給付(要支援1～2、訪問看護、福祉用具等)→変更なし 予防給付(要支援1～2、訪問介護、通所介護)→総合事業へ</p> <p>*「総合事業導入の意図、目的は何か」の問いに「ボランティアやNPO等の活用で社会保障費の抑制、高齢者自身が支える側に回ることによって介護予防効果もある」また「総合事業は、介護保険から外れて一般会計に移行するのか」の問いに「介護保険特別会計の中に介護保険と地域支援事業があり、総合事業は介護保険から地域支援事業に移行する」また「総合事業は市の独自サービスなのか」の問いに「国がサービスの類型を示し、対象者や報酬単価などの制約はあるが、市の独自性は出せる」との回答があった。</p> <p>*「総合事業対象者で要支援1、2以外の者とは」の問いに「基本チェックリストによる判定で対象者となる」また「市役所の窓口以外でのチェックリスト判定は可能か」の問いに「包括支援センターの職員による訪問等による判定を検討する」また「サービス内容等について他市との調整は行うのか」の問いに「同一事業所を他市の市民が利用する場合もあり、利用料等の調整は必要となる」との回答があった。</p>

②訪問サービス、通所サービスについて

訪問型・・・現行サービス、サービスA(緩和)、サービスB(住民)
通所型・・・現行サービス、サービスA(緩和)、サービスB(住民)
訪問介護の報酬単価は隣接市との調整はしないが、
通所介護の報酬単価については宇部市と調整を行う。

* 「住民主体に行うサービスB型の地域の組織作りはどうか」の問いに「小学校単位で協議会を設置し、地域で支え合う体制を作りたい」また「コーディネーターはどうか」の問いに「地域の話し合いの中で決めていただく」また「総合事業移行による事業所閉鎖等の状況はどうか」の問いに「まだ事業所への説明会を行っていないが、各事業所への聞き取りを行っている。訪問介護では採算ラインより上で単価設定を検討している」との回答があった。

* 「サービスB型とボランティアポイント制度や地域通貨との連携等は協議しているのか」の問いに「うまくかみあわせていきたいが、来年4月には間に合わない。平成30年以降となる」また「サービスB型は自治会が行えないか」の問いに「身近な団体の参入を期待したい」との回答があった。

③総合事業の導入に伴い廃止、継続を検討中の事業

軽度生活援助事業・・・総合事業の中での対応を検討
友愛訪問事業・・・平成28年度で終了を検討
配食サービス事業・・・廃止を含めて検討中
介護予防型デイサービス事業・・・総合事業に移行できない。

* 「配食サービスに代わる事業の予定は」の問いに「配食サービスは民間事業所が増え、料金も変わらないので、民間でできるといふことで検討中」との回答があった。

④介護予防・日常生活支援総合事業導入のスケジュール

今後、事業所への説明会、調査、申請受付を行い、1月に事業所を決定する。

所管事務調査報告

産業建設常任委員会

平成28年9月2日

<p>調査事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 観光振興について 2 山陽小野田市プレミアム付商品券及び地域通貨の今後について 3 山陽小野田市地域公共交通網形成計画について 4 その他
<p>調査日時</p>	<p>平成28年8月5日午前10時から</p>
<p>調査項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「幸福の鐘」設置の進捗状況、江汐公園の活用、観光計画の今年度スケジュール等について 2 プレミアム付商品券について今後の見通し及び地域通貨の新たな方向性等について 3 地域公共交通網についての具体的構想等について
<p>調査によって明らかになった事項</p>	<p>① 観光振興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「幸福の鐘」については近隣への騒音対応、ロケーションに最適な場所を含め検討中であり、年内設置をめどとしている。形状は高さ1.7メートルで、ハート型の中央に直径25センチの鐘がつるされたものになる。鐘はしんちゅう、他は全てステンレスで一体は銀色となる。予算額は300万円である。 ・ 江汐公園の整備や活用については、都市計画課が指定管理者と協議、指示をしている。観光課は情報発信やイベント等の開催整備を担っているが、今後は整備計画や企画等について庁内連携会議等で意見交換をしながら進めていく。 ・ 今年度の観光課のスケジュールは、実施計画とアクションプランの整合性をとりながら、基本戦略に沿って具体的事業を進めている。

	<p>② プレミアム付商品券、地域通貨について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度実施のプレミアム付商品券については消費喚起効果として一定の成果はあったとの認識だが、今年度やる予定はない。 ・ 現在の地域通貨導入事業では流通量を増やすことは困難であり、見直しが必要との認識はある。現在、商業振興策については商工会議所とも協議検討しているが、今の段階では商品券がこれに当たるとの結論に至っていない。 <p>③ 地域公共交通網形成計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理科大生の通学については、現在スクールバス、船鉄バス、JRを合わせて20便あるが、生徒数の増加を踏まえ、大学側の意見を聞きながら学生生活にあったダイヤ改正からやっていく。 ・ バス減便の理由に利用者の減少もあるが、第一に運転手の確保が困難であると聞いている。 ・ 連携計画など従来のものを見直し、それぞれの結節点、埴生、厚狭、小野田駅周辺を再設定しなおした中で方向性を出していき、この1年である程度まとめていきたい。 ・ デマンド型交通については地域に喜ばれ、順調に推移しているが、便数や便の時間設定など、3年経った辺りで見直しや改善をしたい。 <p>④ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山陽小野田市産学官連携推進協議会が7月25日に発足した。
<p>今後の委員会の対応又は結論</p>	<p>観光振興、地域通貨の導入、地域公共交通はいずれも本市にとって重要な事項であるが、すぐに結果が出せるものでもない。とは言え、スピード感が求められている。委員会として、今後も担当課と随時協議を重ね、市民生活の向上に寄与していく。</p>

産業建設常任委員会

平成28年9月2日

調査事項	山陽小野田市污水施設整備構想について
調査日時	平成28年8月22日午後1時から
調査項目	山陽小野田市污水施設整備構想の内容についての調査
調査によって明らかになった事項	<ul style="list-style-type: none">・ 小野田、山陽の両水処理センターの老朽化により、長寿命化、更新工事に多額の費用と年月を要するため、下水道普及率の増加目標を1%から0.5%に下方修正せざるを得ない状況になっている。・ 今回の整備構想は国土交通省、農林水産省、環境省の3省合同のガイドラインによる経済比較を基に将来的に公共下水道、集落排水、合併浄化槽のいずれの方法で整備すべきかを地域ごとに検討した。・ 本市の污水処理普及率は、公共下水道52.0%、農業集落排水施設2.8%、個人設置型浄化槽24.4%で、未整備は20.8%である。・ 公共下水道事業が終わるのは、家屋の密集度の高いところは今後10年をめどに、それ以外の区域は20年、30年掛かると考えている。・ 都市計画税は下水道が主であるが、道路、公園などの都市施設の建設に対しても一部が充てられている。・ 受益者負担金は下水の建設費の一部を負担していただいている。小野田処理区は平米当たり260円、厚狭処理区は300円である。
今後の委員会の対応又は結論	污水施設整備構想について、パブコメの反応も少なく、今後、市民から苦情や意見も予想される。その際の執行部の対応を注視したい。